

科目名	簿記論Ⅱ Bookkeeping II						
科目担当者	笠木 秀樹 KASAGI Hideki						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 基礎専門科目] 法学部・法律学科 [専門教育科目 関連科目]				ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)	
授業の概要	簿記は、現金の収入・支出や商品の仕入・販売など、さまざまな企業活動を正しく記録・計算・整理し、その結果を報告するための技術である。本授業では、「簿記Ⅰ」で学んだことをもとに、複式簿記の基礎である簿記の原理および記帳、決算などの初歩的な内容について学習する。なお、この授業では、簿記の仕組みと具体的な内容について解説を行った後、練習問題に取り組み、理解を深めるといった形式で進めていく。						
授業の到達目標	① 開始手続から決算手続に至る簿記一巡の手続きを十分理解し記帳ができるようになる。 ② 決算手続きを十分理解でき、決算整理事項を記帳処理ができるようになる。 ③ 精算表を的確に作成することができるようになる。 ④ 決算資料をもとに財務諸表を的確に作成することができるようになる。 ⑤ 伝票会計について理解でき、正確な記帳処理ができるようになる。						
授業計画・内容	1	授業のガイダンス／株式の発行、剰余金の処理					
	2	その他の費用					
	3	貸倒れと貸倒引当金					
	4	固定資産と減価償却					
	5	試算表の作成					
	6	決算と決算整理					
	7	決算整理仕訳					
	8	精算表のしくみ					
	9	精算表の作成					
	10	財務諸表の作成					
	11	剰余金の配当と処分					
	12	法人税と消費税					
	13	3伝票制（入金、出金、振替伝票）					
	14	伝票の集計と転記					
	15	演習問題、まとめ					
授業外学修 (事前学修)	簿記の習得には、継続的に繰り返して学習する必要があり、授業に関して、予めテキストを熟読し、例題に取り組む。（毎週2時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	授業内容について復習し、学習上の疑問点を解消しておくとともに、さらに進んだ学習を行わない簿記検定試験問題等に取り組む。（毎週2時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	定期試験				30%	①	
	小テスト（3回）				30%	②③④	
	ミニッツペーパー（毎時間）				40%	①②③④⑤	
成績評価基準	秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	『基本簿記』、三恵社 なお、本テキストは、「簿記論Ⅰ」から継続して、教科書として使用する。						
参考文献	『合格トレーニング 日商簿記3級』、TAC 出版						
その他	毎時間、電卓を使用する。						